



◆ 開発教育セミナー ◆

1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。しなやかに元気で学ぶの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。



◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

◆ タイムテーブル ◆ (第2～6回)

【1日目】	【2日目】
15:30 - 受付	8:00 - 朝食
16:00 - セッション①	9:00 - セッション③
18:00 - 夕食	12:00 - 解散
19:00 - セッション②	
21:00 - 交流会	

*2日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約下さい。(追加料金:1,150円)

◆ 会場のご案内 ◆ (第2～6回)

関西セミナーハウス

京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 (曼殊院北隣300m)
電話:075-711-2115 <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
地下鉄「北山」駅 2番出口からタクシーで約10分
叡山電車「修学院」駅、または、
市バス 5、31、北8「修学院道」、65「修学院駅前」より徒歩20分
駐車場あり(無料) ※第1回は別会場



◆ 開発教育セミナー要項 ◆

- 対象:** 開発教育に関心のある方。
定員: 各回30名(第1回50名)
参加費: 全日程参加:10,500円(第2～6回)
 (夕・朝食、宿泊費、3つのセッションのプログラム費含む)
申込み: 事務局へ開催日6日前までにお申し込み下さい。
- *プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加下さい。
 - *部分参加は事務局にご相談ください。
 - *第1回「開発教育入門セミナー」は無料です。
 - *定員に達した場合、締め切ることがあります。
 - *前日以降の変更は、キャンセル料が発生することがあります。
 - *第1回の詳細は、後日発表の要項をご確認ください。

◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。そのために、開発教育は次のようなことをめざしています。

- ・世界の文化の多様性を尊重する
- ・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
- ・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
- ・世界と私たち自身とのつながりに気づく
- ・社会参加できる能力と態度を養う

(特活)開発教育協会 (<http://www.dear.or.jp>) の定義より

<事務局>

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 電話:075-711-2117 (直) FAX:075-701-5256
 Eメール:office@academy-kansai.org
<http://www.academy-kansai.org>

..... 2017年度開発教育セミナー申込書

フリガナ	名前	所属
参加を希望する回に、○をつけてください。		
第2回	7/15-16 ()	第3回 9/9-10 ()
第5回	11/18-19 ()	第6回 12/9-10 ()
住所 (〒 -)		
電話 () - ファックス () -		
電子メール: @		
通信欄		

※第1回の申込み先はJICA関西です

～ 地球市民をめざして～

2017年度

開発教育セミナー

第1回 7月9日(日) <協カプログラム>
開発教育入門セミナー (会場:京都市国際交流会館)
 Think Globally, Act Locally ～「足もと」と「世界」をつなぐ～



第2回 7月15日(土)～16日(日)
ビジネスで持続可能な社会をつくる
 ～インドネシアのカカオとの出会いから
 講師 吉野 慶一さん



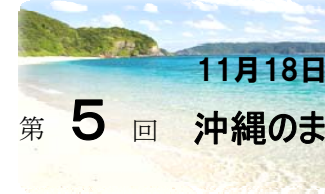
第3回 9月9日(土)～10日(日)
「考える」をファシリテートする～民主主義を耕すために
 講師 森 秀樹さん



第4回 10月14日(土)～15日(日)
日本は“死の商人”になるのか?～軍事と民生の境界線
 講師 杉原 浩司さん



第5回 11月18日(土)～19日(日)
沖縄のまなざし、沖縄へのまなざし～メディアの報道と私たち
 講師 安田 浩一さん



第6回 12月9日(土)～10日(日)
もっと知りたいイスラーム～中東とヨーロッパの「今」から学ぶ
 講師 内藤 正典さん

主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会
 (第1回は、協カプログラム) <http://www.academy-kansai.org>

後援:京都市教育委員会、京都府教育委員会、(特活)開発教育協会<DEAR>



2017年度 開発教育セミナー年間案内



◇ ごあいさつ ◇

トランプ大統領の誕生やイギリスのEU離脱決定は、グローバリゼーションへの反発であるといわれています。しかし、ある国が保護主義に傾いたことで、グローバリゼーションの流れが大きく変わるとは考えられません。

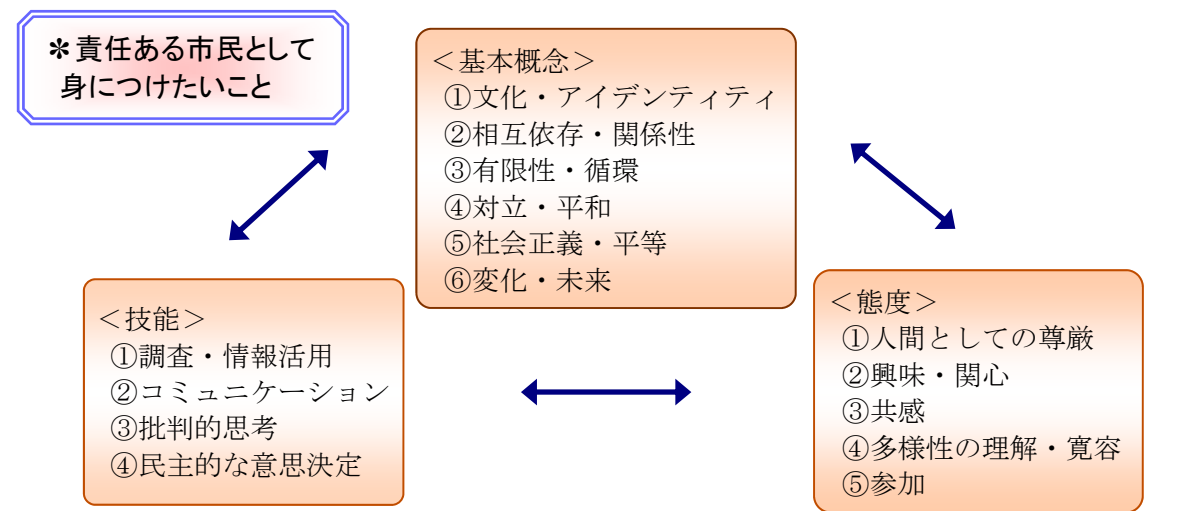
グローバリゼーションとは、「経済と関係があろうとなかろうと、はるか遠くの出来事の影響が以前とは比べようもないほど直接的に、間髪を入れずに私たちに及んでくる。逆に言えば、個人としての私たちの意志決定がグローバルな意味を持つのである。例えば、私たち一人ひとりの食習慣の変化が、地球の裏側に住む食料生産者に対して重大な影響を及ぼすことがあり得る」とし、「グローバリゼーションによって人々の“日常”が密接につながればつながるほど、地域的なナショナリズムの台頭が促される」とギデンズはすでに1999年に指摘しています。

今、人・情報・物の流れが格段と速くなり、テロや難民が地球規模で時を経ず拡散し、様々な国や地域で排他的なナショナリズムが叫ばれているのも、グローバリゼーションの一側面だとも捉えられます。こうした時代だからこそ、私たち自身が、自律的に自らの“日常”を見つめ、問い直すことが必要になるのではないのでしょうか。

世界の情勢をありのままに見ることは、とてつもなく難しいことです。しかし、どうせ理解できないとあきらめるのではなく、何とか理解していこうと努力し、そこにある問題の解決に向けて何が自分にできるのかを考えることこそが、つながりあう世界に住む私たちの責任だといえるでしょう。一人でも多くの人と出会い、様々な考え方や価値観にふれ、新たな自分を求めることを模索していきたいものです。

開発教育では、世界で起きている貧困・飢餓、紛争・戦争、環境破壊、人権侵害といった問題を取り上げ、自分たちのくらしとのつながりを深く見つめ、多様な視点で捉える学びを創り出してきました。本年度も、6回のセミナーを通してよりよい社会をめざし、私たちに何ができるか、共に考えていきましょう。みなさまと出会えることを楽しみにしています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会



☆当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同 II 難民』(古今書院)、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同 II』(明石書店)を、関西セミナーハウスで開催のセミナー時には、割引価格で販売します。

第1回 7月9日(日) <協カプログラム> アクティブラーニングを体験しよう!

「開発教育入門セミナー～Think Globally, Act Locally～「足もと」と「世界」をつなぐ～」

10:00～16:30 会場:京都市国際交流会館

- ・食のタネあかし～食料への権利を考える～
- ・豊かさの開発
- ・スマホの真実～紛争鉱物と環境破壊とのつながり
- ・JICA教師海外研修2016 ネパール実践授業報告会 ほか

<主催>

(独)国際協力機構 関西国際センター(JICA関西)
(公財)京都市国際交流協会

◇お申込みは、JICA関西などのウェブサイトから、申込フォームをダウンロードするか、チラシを入手して、JICA関西にEメールまたはFAXでお申し込みください。

第2回 7月15日(土)～16日(日)

ビジネスで持続可能な社会をつくる～インドネシアのカカオとの出会いから

講師:吉野 慶一さん(Dari K株式会社)

ビジネスを通して生産者・企業・消費者のトリプルwinの関係をつくってきたDari K。豊かな森の中で他の作物と共に栽培されるカカオの木から、高品質のカカオを生み出す技術を指導し、農家に収入の向上や生活の安定をもたらしてきました。吉野さんのこれまでの歩みや描く未来から、「フェアトレード」の意味を問い直し、公正で持続可能な社会づくりについて考えてみましょう。

第3回 9月9日(土)～10日(日)

「考える」をファシリテートする～民主主義を耕すために

講師:森 秀樹さん(兵庫教育大学大学院教科教育実践開発専攻)

市民として社会に参画するために「考える」ことはとても重要です。教室でも「考えなさい」と言うことがよくありますが、用意された答え探しに終わりがちです。何をどう考え、どう深めたいのか、そもそも、どうすれば考えられるのか……。対話を通して「考える」を促進するファシリテーションについて、「こども哲学」の方法をヒントに体験的に学びます。

第4回 10月14日(土)～15日(日)

日本は“死の商人”になるのか?～軍事と民生の境界線

講師:杉原 浩司さん(武器輸出反対ネットワーク)

政府は今、成長戦略として武器輸出を進めており、軍産学複合体が形成されようとしています。日本の技術が投入されたミサイルや無人偵察機を用いて戦争犯罪を引き起こされてはなりません。日本学術会議は、軍事目的のための科学研究は行わないと3度目の声明を出しました。平和のための経済とは、学問とは何かを考え、戦争を防ぐ知恵を磨いていきましょう。

第5回 11月18日(土)～19日(日)

沖縄のまなざし、沖縄へのまなざし～メディアの報道と私たち

講師:安田 浩一さん(ジャーナリスト)

基地がないと沖縄はやっていけないという神話、沖縄に向けられる差別の視線……。本土メディアを通して知る沖縄と、沖縄の人びとが生きる現実との隔たりがますます大きくなっています。情報があふれる今、わたしたちは何を手掛かりにどう沖縄を理解するかが問われています。「安全圏から沖縄を見る」自分に気づき、私たちの社会のあり方についてともに考えましょう。

第6回 12月9日(土)～10日(日)

もっと知りたいイスラーム～中東とヨーロッパの「今」から学ぶ

講師:内藤 正典さん(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科)

限られた情報の中で、誤解や偏見とともに語られがちなイスラーム。昨年度に引き続き、その実像について理解を深めていきます。シリアの現状、混迷する中東の状況、難民の行方や欧州の今を学ぶことを通して、排外主義が渦巻く社会を変える糸口を見出していきます。